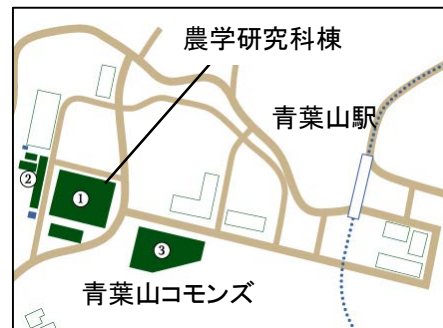


次世代放射光が拓く アグリカルチャー・サイエンス

多元物質科学研究所 放射光産学連携準備室
第3回 ワークショップ

2019年3月22日(金) 13:00~17:00

東北大学 青葉山新キャンパス
青葉山 commons 大講義室 (参加費無料)
(地下鉄東西線青葉山駅南口から右手へ徒歩3分)



東北大学青葉山新キャンパス

趣 旨

第3回ワークショップを、次世代放射光施設が建設される青葉山新キャンパスで開催いたします。今回は、食や健康に関連した農学研究や産業における次世代放射光施設の利活用を主題とします。仙台市・宮城県・東北地域における農業・食品産業の重要性は高く、また世界的な健康長寿社会や維持可能性社会の実現のためにも、食と農の諸問題の解決が急がれています。本次世代放射光施設が世界に先駆けた高輝度軟X線と農・食の融合拠点となることを目指し、その利活用や解析手法開発などについての論議を深めたいと考えています。

プログラム

13:00 開会挨拶	村松 淳司 (東北大学副理事:次世代放射光担当)
13:10 東北大学と次世代放射光施設	福山 博之 (次世代放射光利用推進委員会専門委員会委員長)
13:25 ハイブリッド材料開発研究における軟X線利活用の可能性	蟹江 澄志 (東北大学多元研)
13:55 次世代放射光によるバイオ・ソフトマテリアルイメージング	竹内 晃久 (JASRI/東北大学多元研)
14:25 コウリションコンセプトと産学連携のイメージ	真木 祥千子 (東北大学多元研/PhoSIC)
— Coffee Break 14:40-15:00 —	
15:00 産学連携への期待	黒田 俊久 (東北大学NICHe)
15:15 食産業学からの期待	石川 伸一 (宮城大学食産業学群)
15:30 宮城県食品業界からの次世代放射光とリサーチコンプレックスへの期待	浅見 紀夫 (宮城県食品産業協議会会長)
15:45 農学研究と次世代放射光: 農産物と食品の成分の視点から 水産分野の視点から 生物工学の視点から 精巢・精子研究者が期待すること	駒井 三千夫 (東北大学農学研究科) 中野 俊樹 (東北大学農学研究科) 日高 将文 (東北大学農学研究科) 原 健士朗 (東北大学農学研究科)
16:30 総括と総合討論	高田 昌樹 (東北大学多元研/PhoSIC)
16:50 閉会挨拶	牧野 周 (東北大学農学研究科長)
17:00-19:00意見交換会 (東北大学大学院農学研究科研究棟1F 大会議室、参加費3,000円、申込〆切3月14日)	

<申込方法> 以下のリンク先より、WEB申込フォームにてお申し込みください

<http://regist.3gev.tagen.tohoku.ac.jp> (2月22日より受け付け開始)

世話人: [多元研] 蛇川匡司、蟹江澄志、真木祥千子、[農学研究科] 白川仁、日高将文、中野俊樹、原田昌彦



主催: 多元物質科学研究所 放射光産学連携準備室

共催: 東北大学大学院農学研究科、食と農免疫国際教育研究センター、
物質・デバイス領域共同研究拠点/人・環境と物質をつなぐイノベーション創出
ダイナミック・アライアンス

